

第14回 夏休みピノキオ木工芸作品コンクール表彰 木の温もりを感じさせる力作ぞろい

子どもたちに夏休みを利用して木に親しんでもらおうと『夏休みピノキオ木工芸作品コンクール』を開催し、8月30日に市役所で表彰式がありました。応募点数はテーマ部門とフリー部門合わせて88作品。この日まで市民ロビーに展示された個性あふれる作品の数々は、来場者の目を楽しませました。



↑表彰式のあと、深浦弘信市長と記念撮影する受賞者

テーマ部門〔低学年：宝物入れ〕

ピアノのカーブが急になりすぎないように工夫しました。私もピアノをやっているのので、作っていい楽しかったです。



岩崎 千明さん
(伊万里小2年)

最優秀賞



『ピアノのたからものいれ』

優秀賞



中国 友結さん
(二里小3年)

『幸せいっぱい私のLove Loveボックス』

テーマ部門〔高学年：ログハウス（お家）〕

森の自然を生かすことができるようにすてきな家を作りました。木の皮を屋根の形に合うように小さく切って貼ったところを工夫しました。



栗田 ありささん
(大川内小6年)

最優秀賞



『Dream ログハウス』

優秀賞



梶山 陽菜さん
(大川内小4年)

『森のログハウス』

フリー部門

ペンギンの口をドアの屋根にしたところがポイントです。屋根を重ねるところが難しかったのですが、楽しく作ることができました。



高木 輝希さん
(山代西小1年)

最優秀賞



『ペンギンアーモンドチョコちょぎんぼ』

優秀賞



幸松 大和さん
(窪野小5年)

『ひきだしボックス』



人の動き

平成30年9月1日現在

●人口	55,189人	(- 30)
男	26,630人	(- 7)
女	28,559人	(- 23)
●世帯	23,344世帯	(+ 12)
	()	は前月比

この冊子は、1部当たり約31円で作成されています(人件費など間接経費は含まれていません)。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。

『こんには図書館です』の編集にかかろうとして驚きました。掲載依頼の内容を見ると、市民図書館で催す肥前さが幕末維新博関連のイベントの中で、ミステリー作家のトークショーがあるとのこと。登壇者は綾辻行人、有栖川有栖…。なんですとっ！さらに法月綸太郎、竹本健治。なんとというそうそうたるメンバー。今はほとんど読まなくなりましたが、学生時代から30代にかけて、よく推理小説を読んだものです。古典のアガサ・クリステイなどはほとんど読んだのではないのでしょうか。そして日本の作家で大好きだったのが、『新本格派ミステリー作家』を代表する綾辻先生と有栖川先生。早速図書館に取材を申し込み、先生方の本を数冊買い込みました。皆さんも秋の夜長にミステリーはいかが？(忠)

編集室から